

学習のまとめと表現

近畿地方の学習を振り返って整理しよう

教科書対応ページ p.215(参照するページ p.204~213)

①【ワードチェック】近畿地方で学習してきた次の言葉が説明できたら、□に印を入れよう。

伝統産業

条坊制じょうぼう

世界文化遺産いさん

阪神工業地帯はんしん

軽工業

重化学工業

中小工場

再開発

卸売業おろしうり

大都市圏けん

京阪神大都市圏けいはんしん

一極集中

琵琶湖びわ

淀川よどがわ

富栄養化

地場産業の一部で、江戸時代またはそれ以前からその地域に代々受け継がれてきた方法によって製品がつくられる、家具、仏壇、漆器、陶器などの産業。
古代の中国の都にならった、東西・南北に走る道路が直角に交わる街割りのこと。
ユネスコで採択された条約に基づいて登録された、人類共通の文化的な遺産(記念物、建造物群、遺跡)として、次の世代に受け継いでいくことを目的とする地域や建造物などのこと。
太平洋ベルトの中央部に位置する、大阪市・神戸市を中心に大阪湾岸と淀川流域から大阪市の東側に広がる工業地域のこと。
繊維、日用雑貨、食品などの比較的重量の軽い製品をつくる工業。
大きな設備や高い技術を使い、主に生産活動で利用される重量のある製品をつくる工業で、鉄鋼、機械、化学工業などのこと。
従業員数が300人未満の工場[全工場数の大多数(98.5%)、全従業員数の約70%、全生産額の半分(49%)を占める。*工場数・従業員数:2021年、生産額:2020年]。
一度開発された土地を別の目的のために再整備すること。近畿地方では大阪湾臨海部が、工場や港湾のほか、大都市の住宅不足に対応した住宅団地として、さらに高度経済成長期以降は、レジャーやコンベンション関連施設、大規模な物流の拠点など、多用途の利用を進めている。
商品が流通していくとき、生産者と消費者を結ぶ間でさまざまな業種があるが、その中で生産者と小売業の間をつなぐ業種のこと。
大都市へ周辺の市町村から通勤や通学で多くの人々が移動してくる範囲。
大阪市、京都市、神戸市などの大都市を中心として結びつく地域。
人口過密や住宅問題、都市における公害、地価高騰などの原因となる、一つの都市に政治・経済・文化などの機能が極端に集まること。
滋賀県の面積の6分の1を占める日本最大の湖。流れ込む河川は合計約460本あるが、流れ出る自然河川は1本だけという特徴がある。
交通路として近畿地方の発展を支えてきた、琵琶湖から流れ出て大阪湾に注ぐ川の大府でのよび名。滋賀県では瀬田川、京都府では宇治川とよばれる。
環境問題の一つで、海、川、湖などの水の栄養分が生活排水などによって異常に増加すること。

掲載されている解答は、一つの例です。
自分の解答が正しいか気になった場合は、
先生に質問してみましょう。



まっぴんぐま